

他国を愛し なさい！ —侵略戦争の深層心理—



東郷 潤

[筆者注]

●この「アイセ」と言っている存在は、人々の心の中や社会で、愛を命令している様々な存在(教師なり、親なり、深層心理の中で分裂した自我なり、良心／超自我なり、なんらかの権威者なり)のシンボルとして表現したものです。本物の神様とは無関係です。

●この絵本は、キリスト教(聖書)の「汝の隣人を愛せ」「汝の敵を愛せ」といった教えに関して描いたものではありません。

広い宇宙のある星に、この世は生存競争だと思っている人々の国があります。彼らにとって他国は生存競争の相手、つまりは敵です。



しかし、たとえ敵でも愛さなければいけないと、人々は思っていました。その国では、敵を愛することが正しいことだったので。そこで、その国の人々は、敵を愛すために必死に努力をすることとしました。



彼らが思いついたのは、他の国の人々の悪を善へと変えることでした。もし悪人を善人へと改心させることができたなら、…それこそ、愛することではないでしょうか。それに善人が相手なら、愛することも難しくはありません。彼らは善人が大好きなのです。

さあ、これが、お前達
が守るべき新しい法律
だ。これで、お前たち
は善人になれるぞ

ふざけんな！



しかし、相手の国の人々は言うことを聞きません。親切に善悪を教えてあげているのに、なんていうことでしょうか？ このままでは、悪を善へと変えられません。それでは、敵を愛すことも出来ません。

そこで相手の国へ戦争をしかけ、言うことを聞かない人々、つまりは悪い人々たちを皆殺しにしました。



大勢の仲間を殺された相手の国の人々は、恐怖のあまり、それからは、いいなりです。

この本は
発行禁止



新聞記事は
検閲を受け
なさい



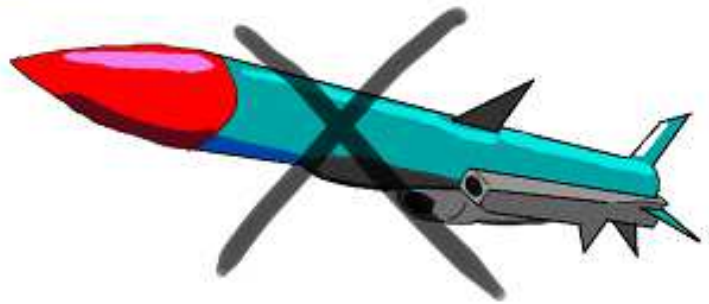
反抗した人は牢屋行き。
従順な人だけで、選挙
をこなさい



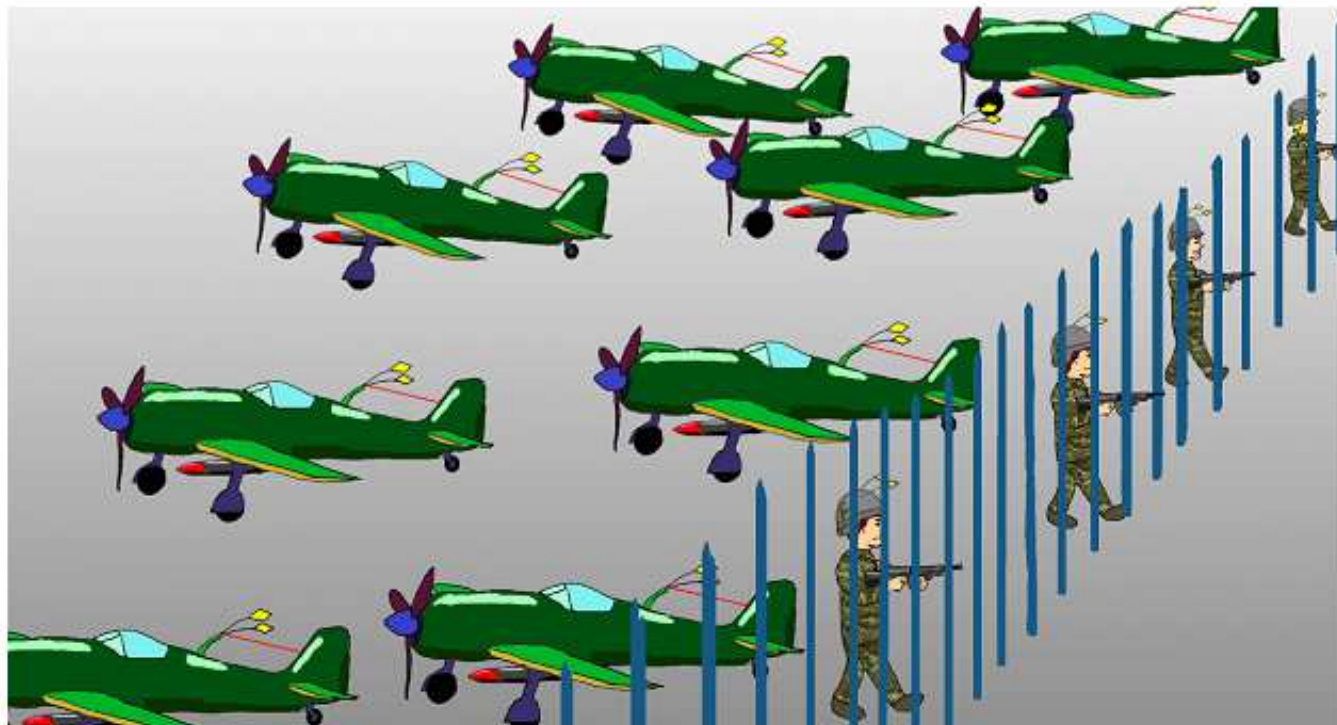
**これは食べても
良いけど、これ
は食べちゃだめ**



**この武器はOKだけど、
この武器は禁止**

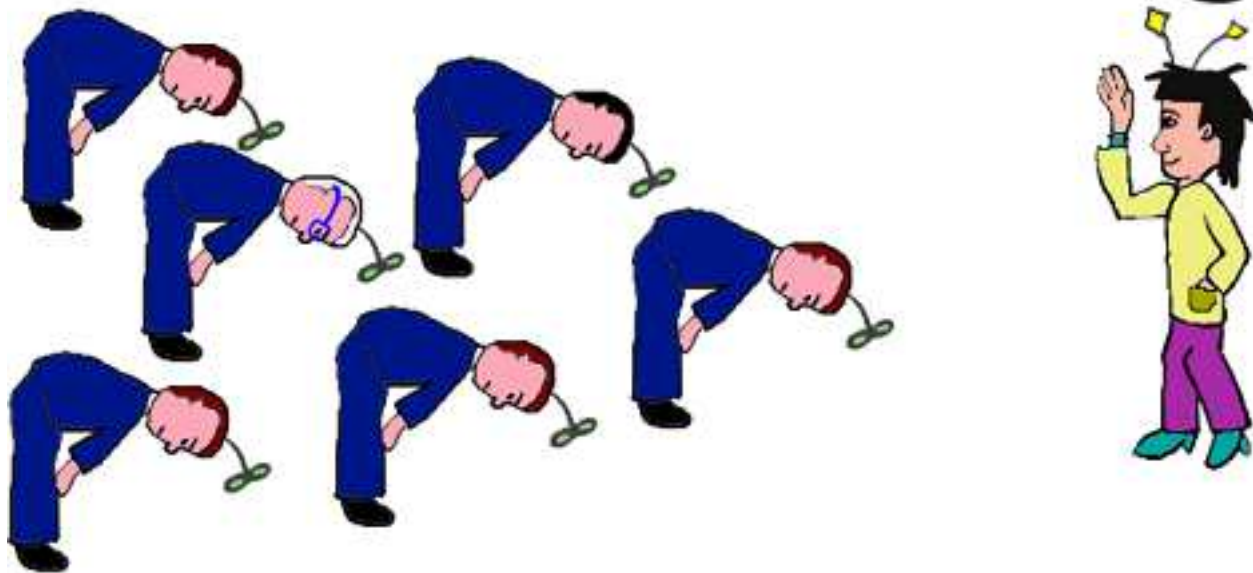


**この土地はわが軍が使うから、お前たちは立ち入り禁止。
むろん、治外法権だよ。**



…何を言われても、戦争で破壊しつくされた、相手の国の人々は言いなりです。

ようやく善なる友好国になったな
愛しているよ



やはり愛するためには、破壊し、怖がらせる必要があるのですね。

—さてこんな風に、この国の人々は敵を愛すために、昔からずうっ〜と戦争を続けています。

お前たちの悪を
善へと変えるぞ！
愛のために！



俺たちは、お前たち野蛮人
を文明へと導いてみせる！



それだけ、お前
たちを愛してい
るんだ！

俺たちが戦うのは、
お前たちの自由の
ため。愛している
からなんだ



正義のために、悪と
戦わなければいけな
いんだ。それこそが、
本当の愛なんだよ



ああ、これほど敵を
愛せるなんて、



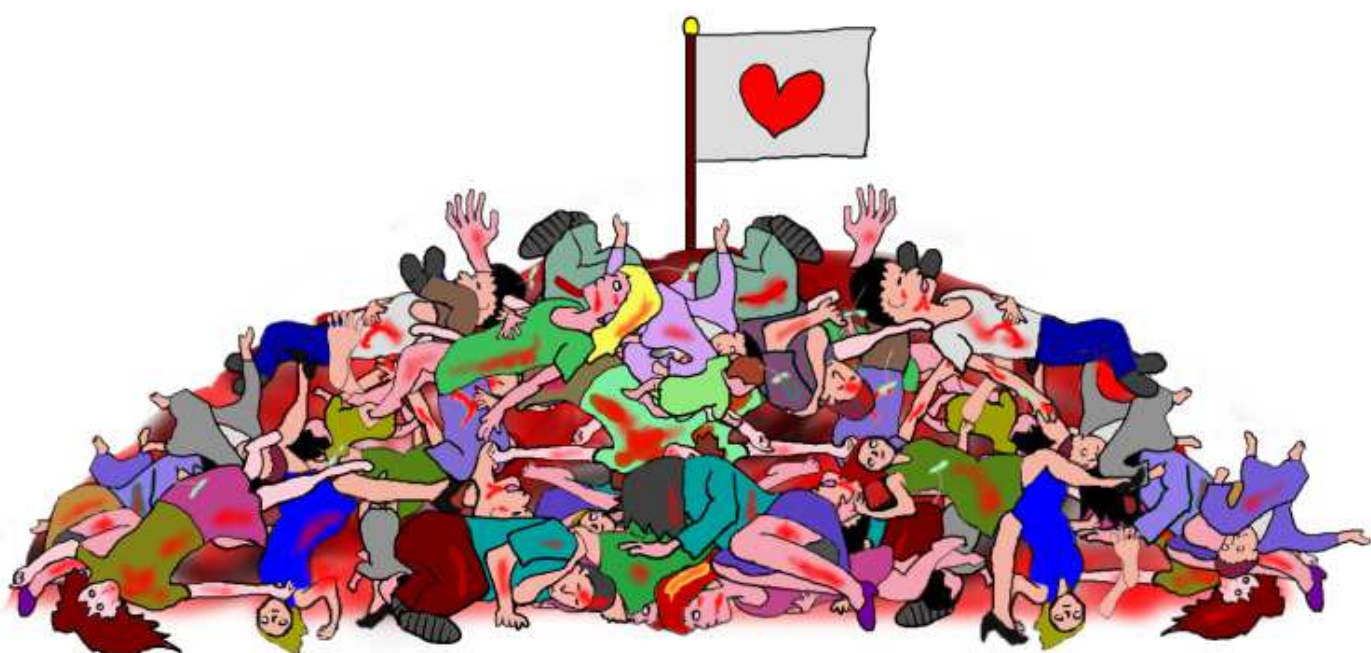
俺達って本当に
善人だなあ！

ねえ、君たち。 この誤解は僕達の星、地球でも大勢の人たちがしています。だからあなた方、宇宙人も敵を愛すために一生懸命努力しているだけと、きっと信じているのでしょうか。 でもね、愛を無理に作り出すことなど、地球人にも宇宙人にも出来ません。出来るのは、せいぜい自分を騙し、愛しているつもりになって、武力と恐怖で人々を支配することぐらいでしょう。



どうか愛を 命令しないで！

愛は生まれず、
何か別のものが、生まれ
ちゃうから



あとがき — 「他国を愛しなさい」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にもご紹介していただければとお願いいたします。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009